



# 株式会社メディアドゥ

## 2027年2月期 1Q決算説明資料

証券コード：3678

# Agenda

1.決算ハイライト ----- 4

2.業績推移 ----- 12

- 1. 連結業績
- 2. 電子書籍流通事業
- 3. 戦略投資事業

3.成長戦略 ----- 30



# Executive Summary

株式会社メディアドゥ  
2027年2月期 1Q決算説明資料

- 売上高は、電子書籍流通事業の成長により**増収**
- 営業利益は、減益となるも**期初想定を上回る**
- 2QからのSeven Seas連結開始を考慮した進捗率は、想定通りの水準で推移

|     |         |                |
|-----|---------|----------------|
| 売上高 | 270.7億円 | 前年同期比<br>+4.1% |
|-----|---------|----------------|

|        |       |                 |
|--------|-------|-----------------|
| EBITDA | 7.4億円 | 前年同期比<br>-21.7% |
|--------|-------|-----------------|

|      |       |                 |
|------|-------|-----------------|
| 営業利益 | 4.4億円 | 前年同期比<br>-32.6% |
|------|-------|-----------------|

|                     |       |                  |
|---------------------|-------|------------------|
| 親会社株主に<br>帰属する当期純利益 | 1.2億円 | 前年同期比<br>-84.2%※ |
|---------------------|-------|------------------|

## 電子書籍流通事業

- ✓ 売上高 : 取次事業の前年比成長率は**+4.1%**
- ✓ 営業利益: 減益も**期初想定**の範囲内
  - ・ 主に26/2期3Qにおける利益率の高いサービス終了の影響

## 戦略投資事業

- ✓ 売上高 : **1Qとして過去最高**を更新
- ✓ 営業損益: YoYで**損益が悪化**
  - ・ 主に26/2期3Qからの日本文芸社の業績不振が影響

## Seven Seas買収にかかる影響

- ✓ 1QからBS連結を開始
  - ・ 時価純資産額および税務のれん等の償却に係る税効果を勘案すると、**実質的な買収リスクは買収額の6割弱の\$47百万ドル**
- ✓ 2QからPL連結を開始
  - ・ 9か月間で売上高は**60億円**、営業利益は**2.8億円**の寄与を見込む
  - ・ 1Qは昨年度対比増収増益で着地。期初想定に対しては順調に進捗

01

# 決算ハイライト

Financial Highlights

# 連結業績ハイライト

- ✓ 売上高 ----- 主に電子書籍流通事業の成長により増収
- ✓ EBITDA・営業利益 ----- 電子書籍流通事業において高利益率のサービスが26/2期 3Qに終了したことや、26/2期3Qより業績不振の日本文芸社による影響、システムの開発投資等を行った結果、減益となるも期初想定を上回る着地
- ✓ 当期純利益 ----- 26/2期1QのMyAnimeList(MAL)売却益計上、2026年3月のSeven Seas買収費用計上の影響により他の利益項目に比べて減益額が大きい

|                 | 26/2期 1Q | 27/2期 1Q | 前年同期比           |
|-----------------|----------|----------|-----------------|
| 売上高             | 260.1億円  | 270.7億円  | +4.1% (+10.6億円) |
| EBITDA          | 9.5億円    | 7.4億円    | -21.7% (-2.1億円) |
| 営業利益            | 6.5億円    | 4.4億円    | -32.6% (-2.1億円) |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 8.1億円    | 1.2億円    | -84.2% (-6.9億円) |

26/2期1Q : MAL売却益 (+5.3億円) を計上  
27/2期1Q : Seven Seas買収費用 (-2.2億円) を計上

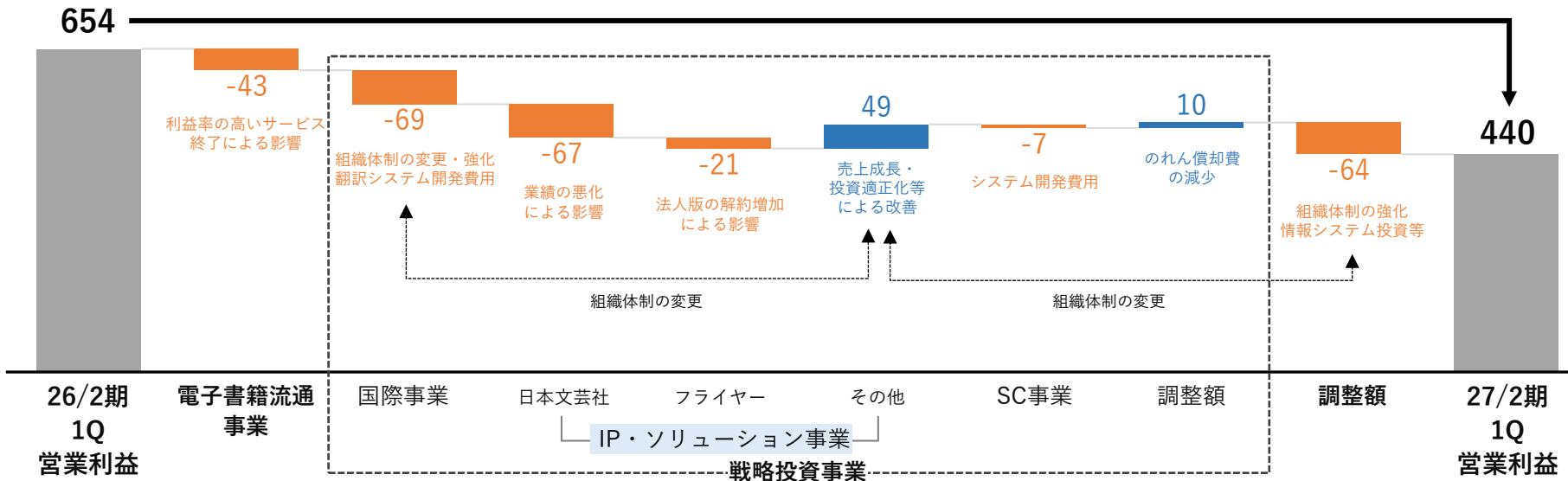
# 営業利益 前年同期比較

- ✓ 電子書籍流通事業は、主に26/2期3Qにおける利益率の高いサービス終了の影響により減益
- ✓ 戦略投資事業は、主に国際事業における費用増、26/2期3Qより業績不振の日本文芸社による影響により損益が悪化
- ✓ 調整額として、組織体制の変更・強化や情報システム投資にかかる費用が増加

■ 増加  
■ 減少  
■ 合計

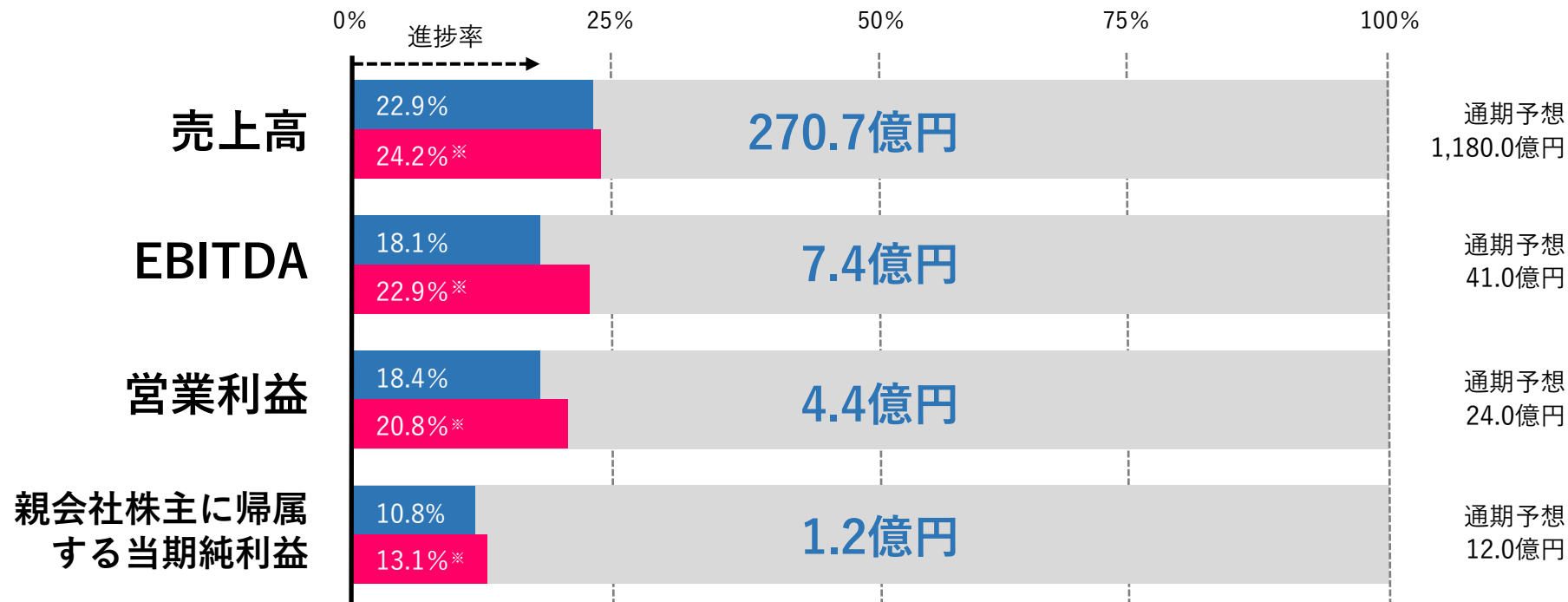
単位：百万円

## YoYで減益も、期初想定を上回る



# 通期業績進捗率

- ✓ 1Qは、長期休暇を含む2Qと4Qに比べて売上高・利益額とも例年少ない季節性
- ✓ 2Qより2026年3月に買収したSeven SeasのPL連結開始を予定。売上高60億円、営業利益2.8億円の寄与を想定
- ✓ Seven Seasの寄与を控除した場合の進捗率を併記※

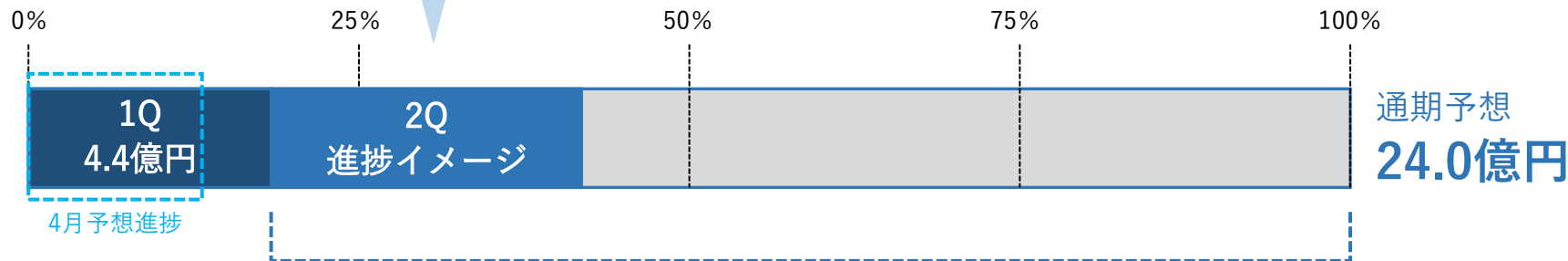


# 1Q着地を踏まえた2Q（上期）営業利益進捗の目安

- ✓ 1Qの通期予想に対する進捗率は18.4%、例年より悪化したものの4月に公表の想定に対してプラスで着地
- ✓ 2Q以降は、Seven Seas社の連結を開始予定。営業利益への寄与は9か月間で2.8億円を想定

## 2Q以降の営業利益進捗に関する主な想定

- ✓ 2Q
  - + 2026年3月に買収をしたSeven SeasのPL連結開始。9か月間で2.8億円の営業利益貢献
  - 電子書籍流通事業：26/2期3Qに利益率の高いサービスが終了したことによるYoYでの粗利減
- ✓ 3Q以降
  - + フライヤー、がんばろう徳島の利益は例年下期偏重
  - + 日本文芸社の改善が進捗



## 2QよりSeven SeasのPLを連結

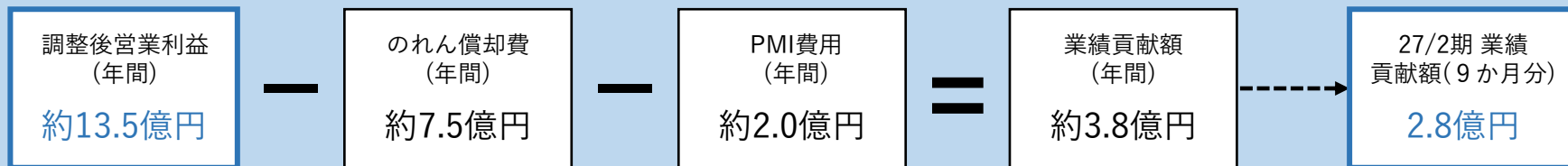
9か月間で2.8億円の営業利益への貢献を想定



# Seven Seasの業績貢献額の期初想定と過去実績

- ✓ 2QよりSeven SeasのPLを連結。算出の前提は以下の通り
- ✓ 1Qは昨年度対比増収増益で着地しており、期初想定に対しては順調に進捗。一方、**例年2Qは1Q対比で売上・利益が減少する傾向**

## 期初想定 (¥150/USD)



## Seven Seas売上利益の推移

(従前の会計方針に基づく暫定的な数値)



# 27/2期 1Qにおいては、Seven SeasのBSの連結を開始

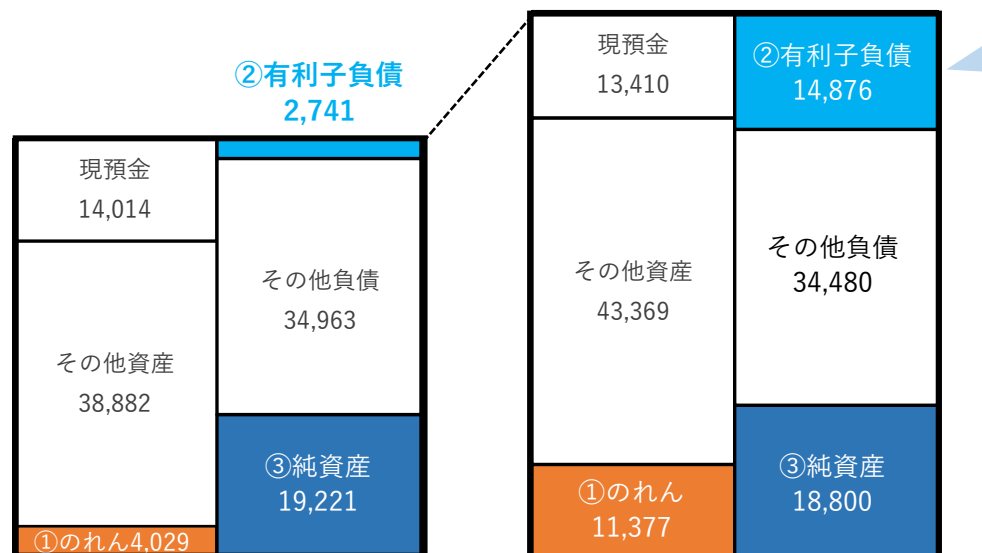
- ✓ 積極的な事業投資やM&Aを実行する一方で、財務規律を意識したBSマネジメントを実行することで財務の安全性を維持
- ✓ 現時点でエクイティファイナンスの必要・予定は無し

## 2026年2月末 連結BS

④総資産：56,926

## 2026年5月末 連結BS

④総資産：68,157



財務規律(目標値)

2026年5月末基準

D/Eレシオ (②÷③)

→1.0倍以下 → 0.8倍

のれん対純資産倍率 (①÷③)

→1.0倍以下 → 0.6倍

純資産比率 (③÷④)

→25%以上 → 27.6%

## セグメント別売上高

報告セグメント※1

単位：百万円

|                   | 電子書籍流通事業 | 戦略投資事業                      |                                  | 26/2期<br>1Q | 27/2期<br>1Q | 前年同期比          |
|-------------------|----------|-----------------------------|----------------------------------|-------------|-------------|----------------|
|                   |          | メディアドゥ                      | 子会社                              |             |             |                |
| 取次                | 電子書籍取次事業 |                             |                                  | 23,946      | 24,921      | +4.1% (+975)   |
| 書籍・雑誌出版           |          |                             | 日本文芸社                            | 470※2       | 397※2       | -15.7% (-73)   |
| Webサービス運営         | まんがセゾン   | オーディオブック<br>FanTop<br>電子図書館 | フライヤー                            | 718         | 731         | +1.7% (+12)    |
| 出版業界向け<br>ソリューション |          |                             | Firebrand<br>NetGalley<br>Supadü | 721         | 709         | -1.7% (-12)    |
| その他               |          |                             | MD-i※3<br>がんばろう徳島                | 154※4       | 315※5       | +104.4% (+161) |
| 合計                |          |                             |                                  | 26,011      | 27,074      | +4.1% (+1,063) |

提供サービスの種類※1

※1 報告セグメント・提供サービスの種類の内訳に記載の事業については、その分類に該当する代表的な事業を抜粋して掲載

※2 電子書籍の売上等を除外した紙媒体での売上を主体とした数値

※3 MD-i=Media Do Internationalの略

※4 26/2期はアルトラエンタテインメントの売上高を含む

※5 26/2期3Qより連結開始のAIStep、および27/2期1Qより連結開始のZealoxを含む

# 02

## 業績推移

Earnings Trends

## 2.業績推移

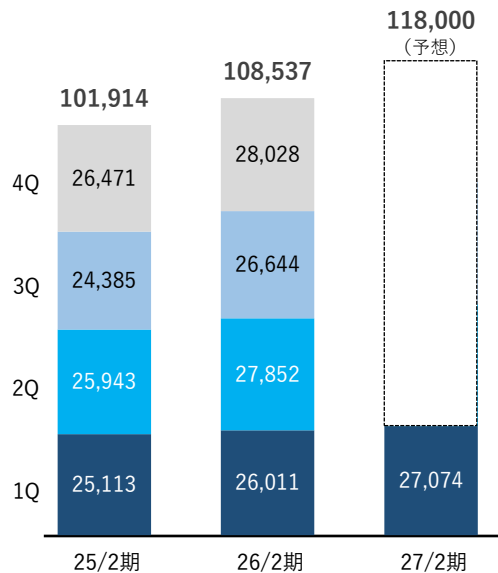
# 連結業績

# 概況

- ✓ 売上高は、主に電子書籍流通事業の成長によりYoYで増収
- ✓ 営業利益は、電子書籍流通事業において高利益率のサービスが26/2期 3Qに終了したこと、日本文芸社の26/2期3Qからの業績不振による影響、システム開発費用の計上によりYoYで減益
- ✓ 2QよりSeven Seasの連結開始を予定

## 売上高

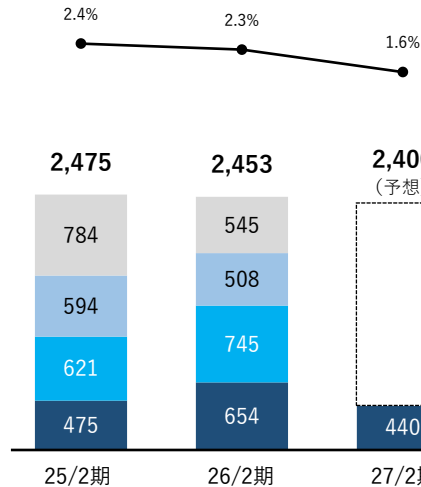
単位：百万円



## 営業利益

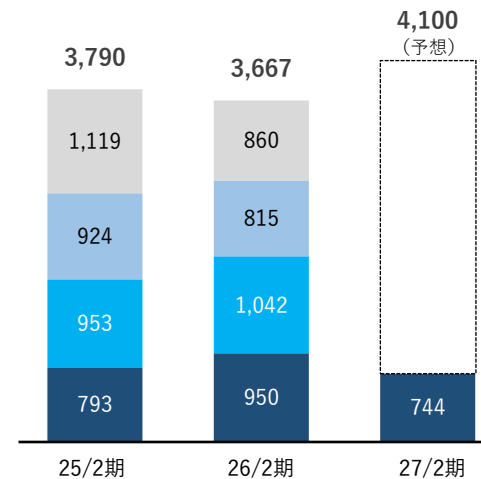
単位：百万円

通期営業利益率



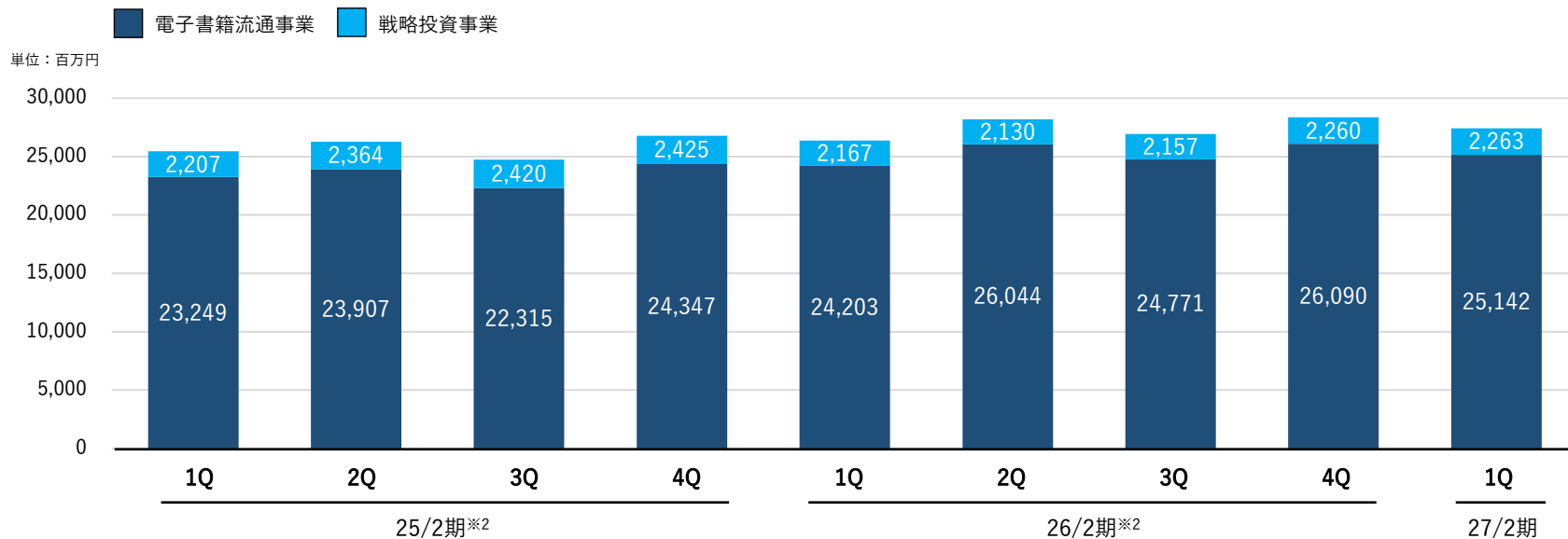
## EBITDA

単位：百万円



## 売上高推移（セグメント別）※1

- ✓ 電子書籍流通事業は長期休暇を含む2Qと4Qに比べて例年少ない季節性があるもののYoYでは増収
- ✓ 戦略投資事業は1Qとして過去最高売上を更新

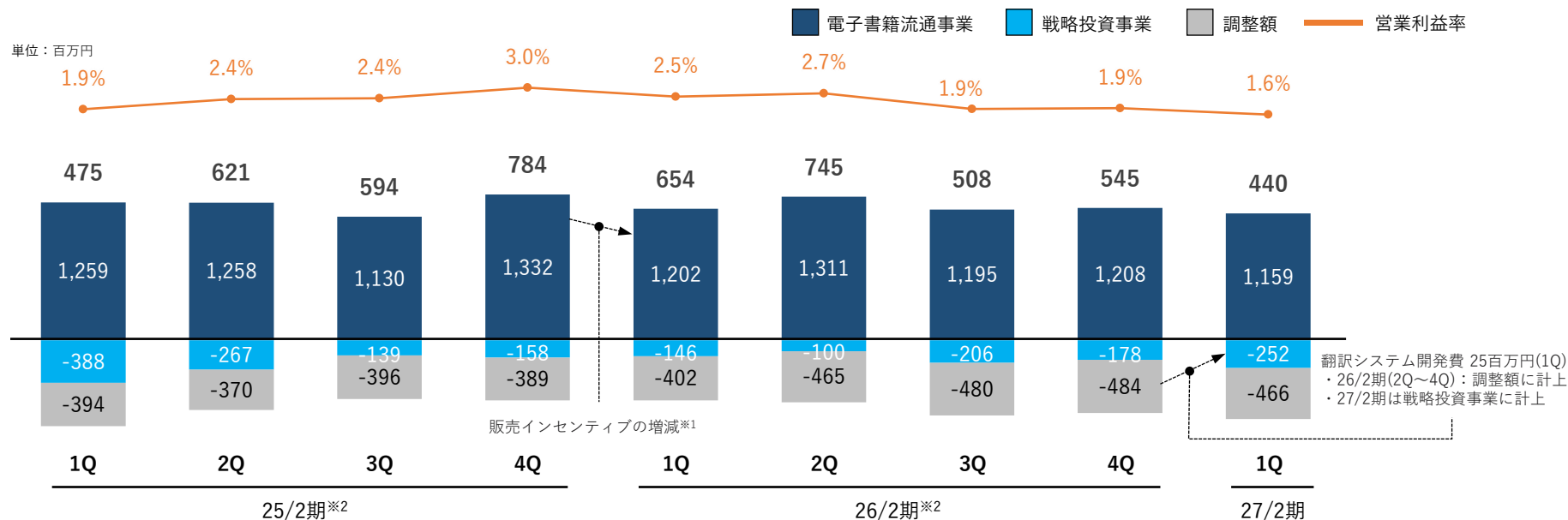


※1 売上高は、セグメント間取引等の調整額を含まない金額。各四半期の調整額については、P.28に記載

※2 26/2期より戦略投資事業の売上高に「がんばろう徳島（プロバスケットボールチーム「徳島ガンパロウズ」の運営会社）」を含めた。グラフにおいては25/2期実績も修正

# 営業利益推移（セグメント別）

- ✓ 電子書籍流通事業は、26/2期3Qより利益率の高いサービスが終了したことで、利益率が悪化
- ✓ 戦略投資事業は、主に26/2期3Qからの日本文芸社の業績不振が影響し損益が悪化
- ✓ 翻訳システム開発費は、26/2期2Q～4Qは調整額（本部費用）、27/2期1Qは戦略投資事業に計上



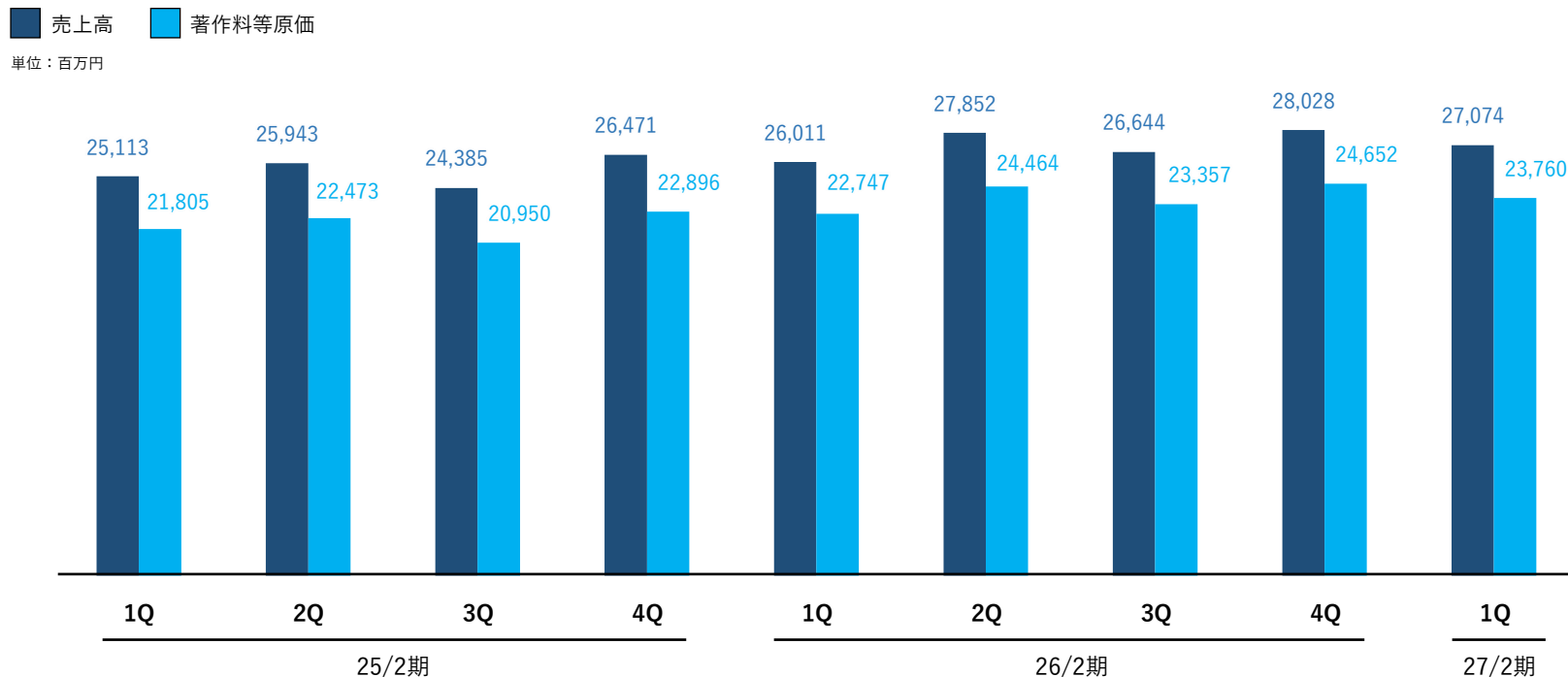
※1 販売インセンティブの増減：特定の電子書店との間で未確定となっていた売上の確定精算完了によるもの

※2 26/2期より調整額から戦略投資事業に「がんばろう徳島（プロバスケットボールチーム「徳島ガンバローズ」の運営会社）」をセグメント変更。グラフにおいては25/2期実績も修正



## 著作権料等原価推移※

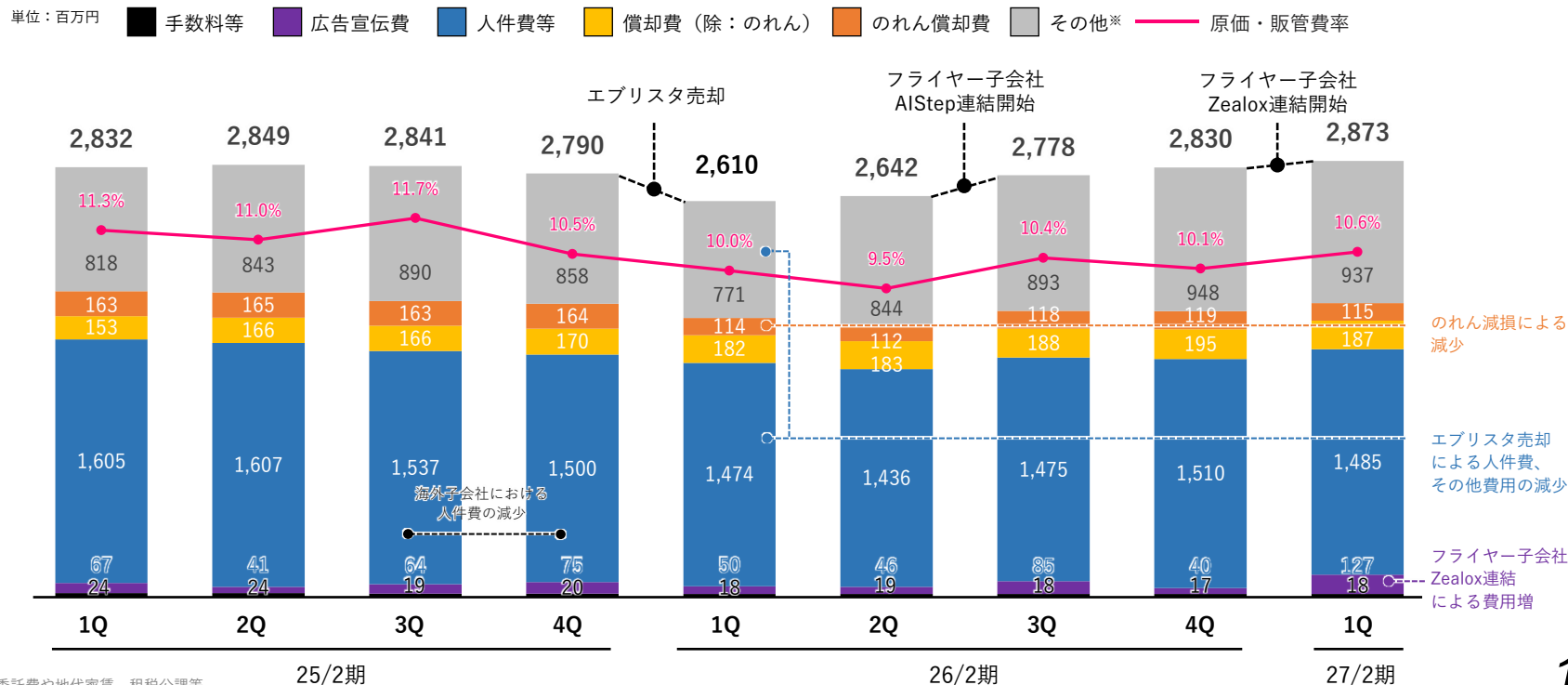
✓ 売上高の増減に伴い著作権料等原価も変動



※ 電子書籍流通事業で発生する著作権料等原価と日本文芸社で計上される印刷製本原価の合計値推移を記載

# 売上原価・販管費推移（著作権等以外）

- ✓ 「その他」には、26/2期2Qより翻訳システムの開発費を計上。4QはフライヤーによるZealoxの買収関連費用を計上
- ✓ 3Qよりフライヤー子会社AIStepの連結開始、27/2期よりフライヤー子会社Zealoxの連結開始

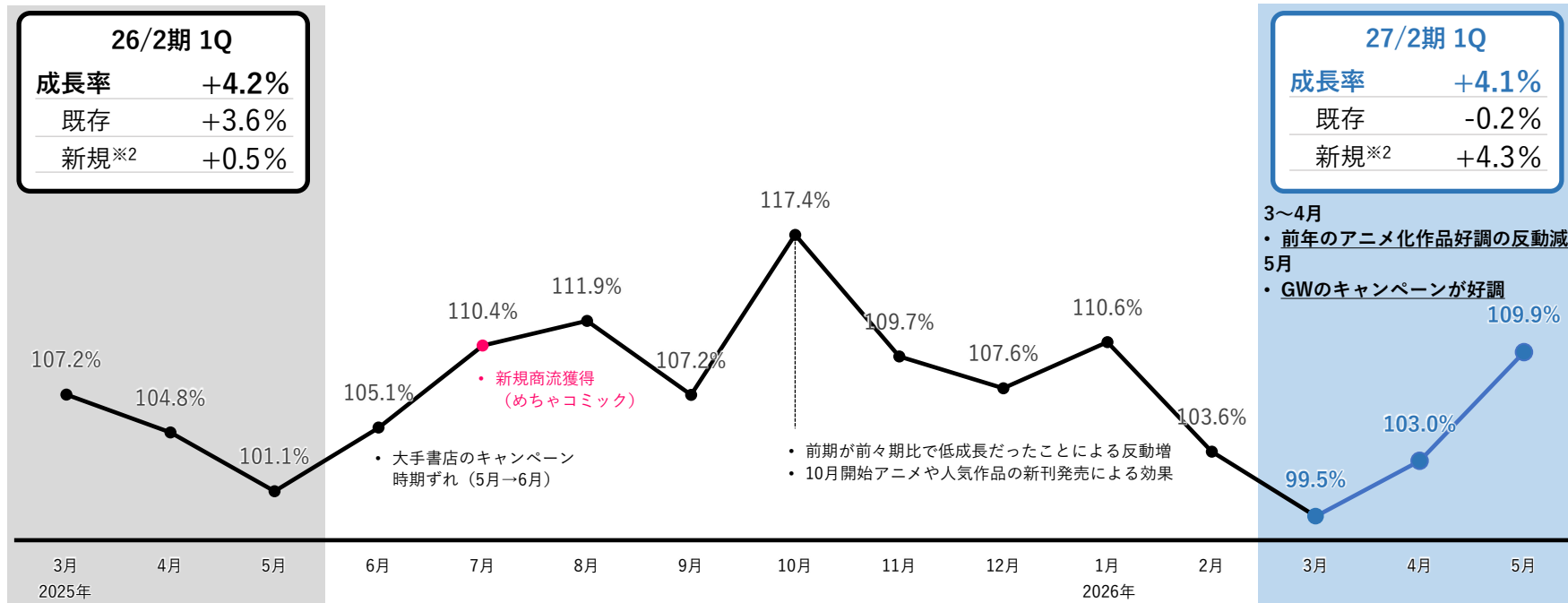


## 2.業績推移

# 電子書籍流通事業

# 売上高前年比成長率※1

- ✓ 1Qの売上高前年比成長率は+4.1%
- ✓ 2Qは、昨年の大手書店のキャンペーン実施(6月)、新規商流獲得(7月)による反動減が想定される
- ✓ 各月の成長率は人気作品の新刊刊行やアニメ化、大型キャンペーン動向に左右される傾向



※1 電子書籍流通事業における取次事業のみの数値を記載

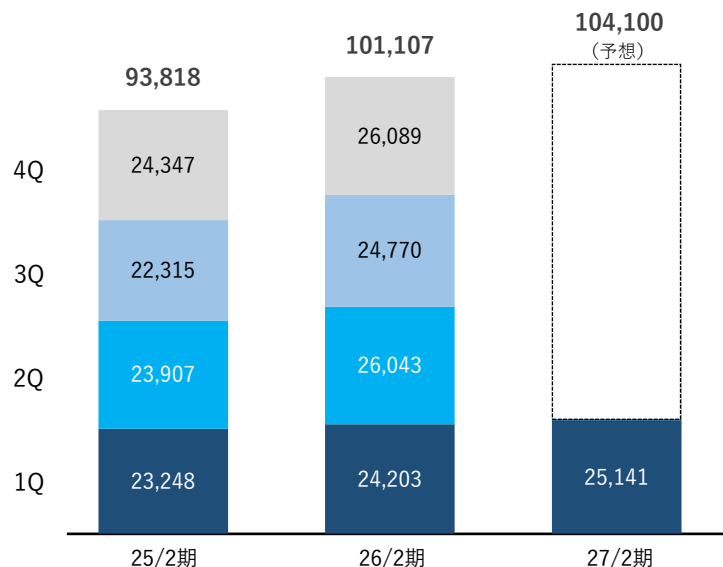
※2 新規商流成長率: 前年比成長率のうち新規商流が占める寄与度

# 売上高・営業利益推移

- ✓ 売上高は、YoYで増収。1Q・3Qの売上が、2Q・4Qに比べて低くなりやすい季節性の影響を受けQoQでは減収
- ✓ 営業利益は、主に26/2期3Qにおける利益率の高いサービス終了の影響により減益も **期初想定**の範囲内

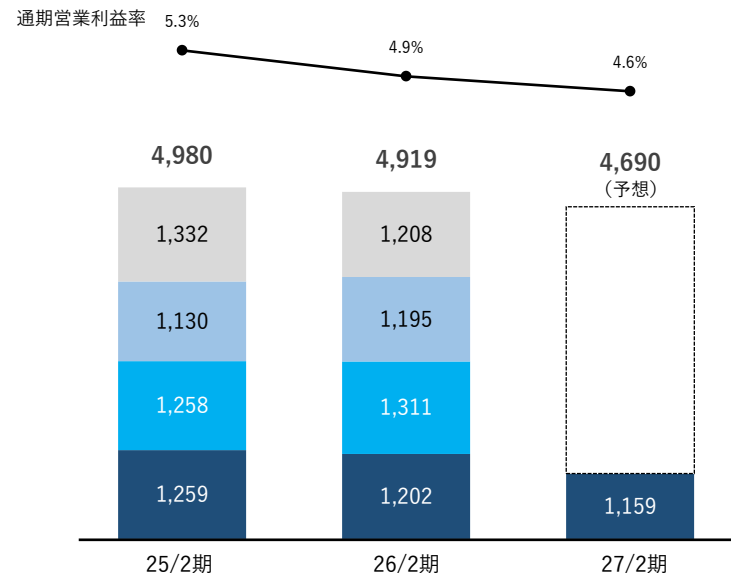
## 売上高

単位：百万円



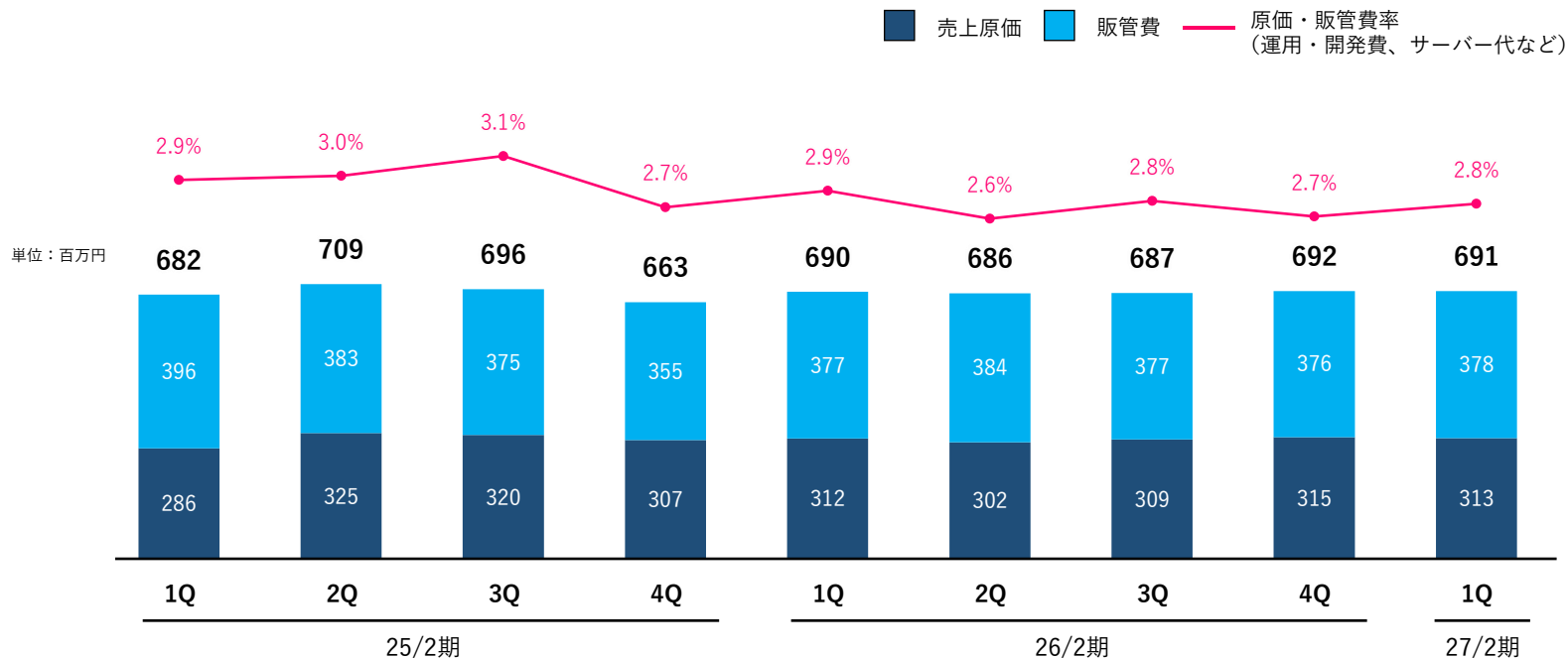
## 営業利益

単位：百万円



## コスト構造（著作権料等を除く原価・販管費）

✓ 著作権料等を除く原価・販管費率は、業務効率化の継続により、原価・販管費の絶対額・率ともに水準を維持



※ 売上原価の増加要因

25/2期1Q：配置転換による影響

25/2期2Q：メンテナンス等の運用が中心となったことから、エンジニア人件費の資産振替額が減少

## 2.業績推移

# 戦略投資事業

# 戦略投資事業の主なサービス概要

- ✓ 戦略投資事業では、中長期における注力領域を事業として構成
- ✓ 主軸である電子書籍流通事業を基盤に、メディアドゥグループの新たな成長ドライバーの早期確立を目指す

## 戦略投資事業は、以下3領域で構成

日本コンテンツの海外展開

### 国際事業



米サンディエゴに位置し、海外取次事業などを担うグループの国際事業拠点



独立系として英語圏最大のマンガ翻訳出版社  
27/2期2QよりPL連結開始



大手BIG4をはじめ多くの欧米出版社が導入。出版ワークフローから販売管理DX、マーケティング、ECサイト構築にいたるシステムの提供・運用支援を通じて、出版ビジネスの成長を支える



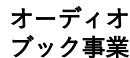
NTTドコモ等とともに取り組む北米向け電子コミック配信サービス

IP創出・育成／企画・出版

### IP・ソリューション事業



実用書やコミック、小説、雑誌など幅広いジャンルを手掛ける70年以上の歴史をもつ出版社



Amazon Audibleにて提供作品を配信



書籍の要約コンテンツを提供するサービス「flier」を運営

Sustainability Creation

### SC事業



男子プロバスケットボールクラブ「徳島ガンパロウズ」の運営



起業家支援「徳島イノベーションベース (TIB)」の運営



TIBをモデルケースに「xIB JAPAN」で日本全国へ拡大

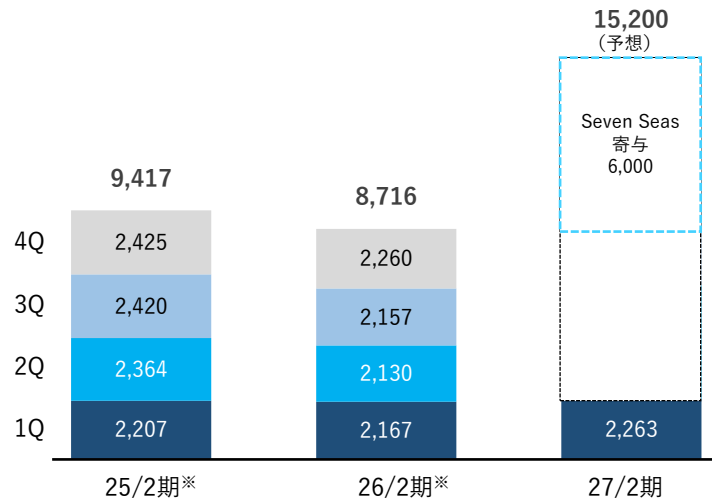


# 売上高・営業利益推移

- ✓ 売上高は1Qとして過去最高を更新
- ✓ 営業損益は26/2期 3Qからの日本文芸社の業績不振が影響しYoYで損益が悪化
- ✓ 2QよりSeven Seasの連結を開始予定、9か月間で売上高60億円、営業利益2.8億円の寄与を想定

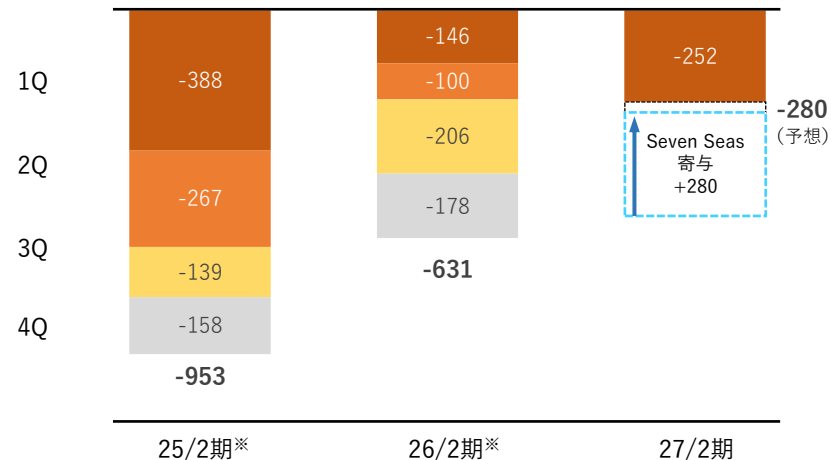
## 売上高

単位：百万円



## 営業損益

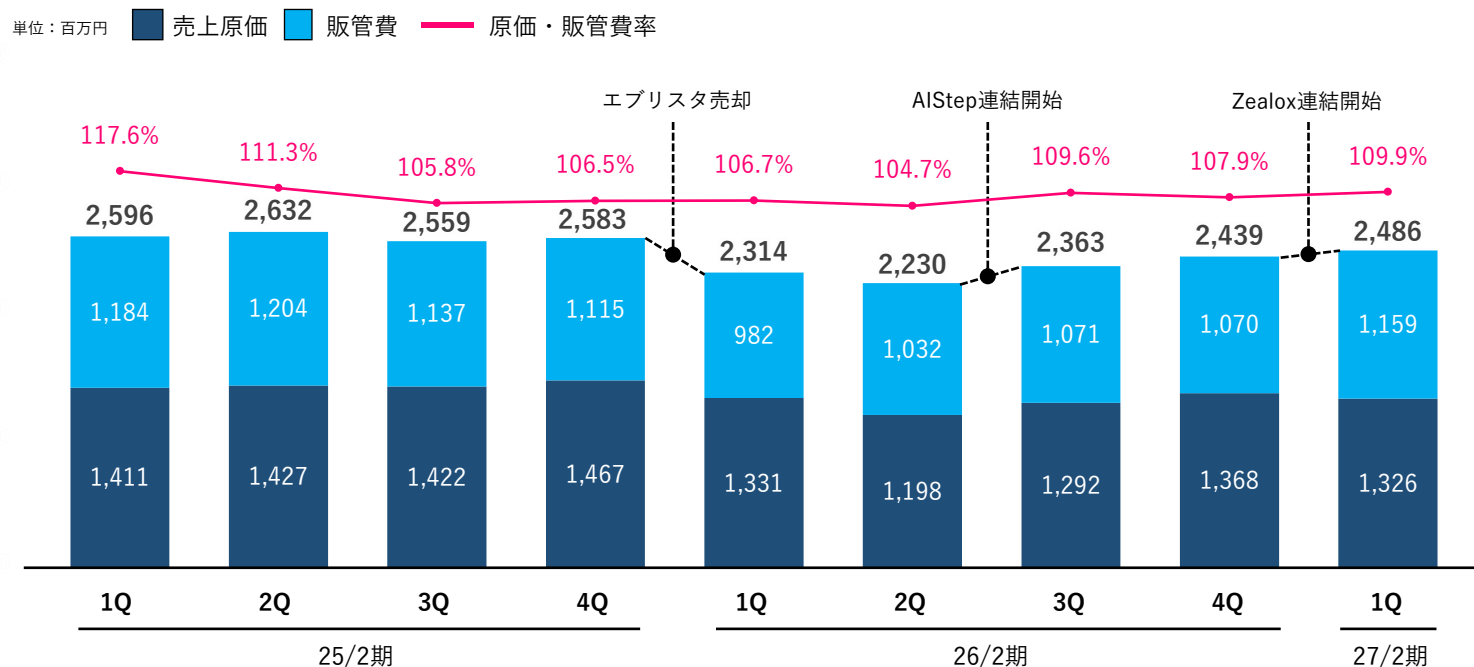
単位：百万円



※ 26/2期より戦略投資事業に「がんばろう徳島（プロバスケットボールチーム「徳島ガンパロウズ」の運営会社）」を含めた。グラフにおいては25/2期実績も修正

# コスト構造

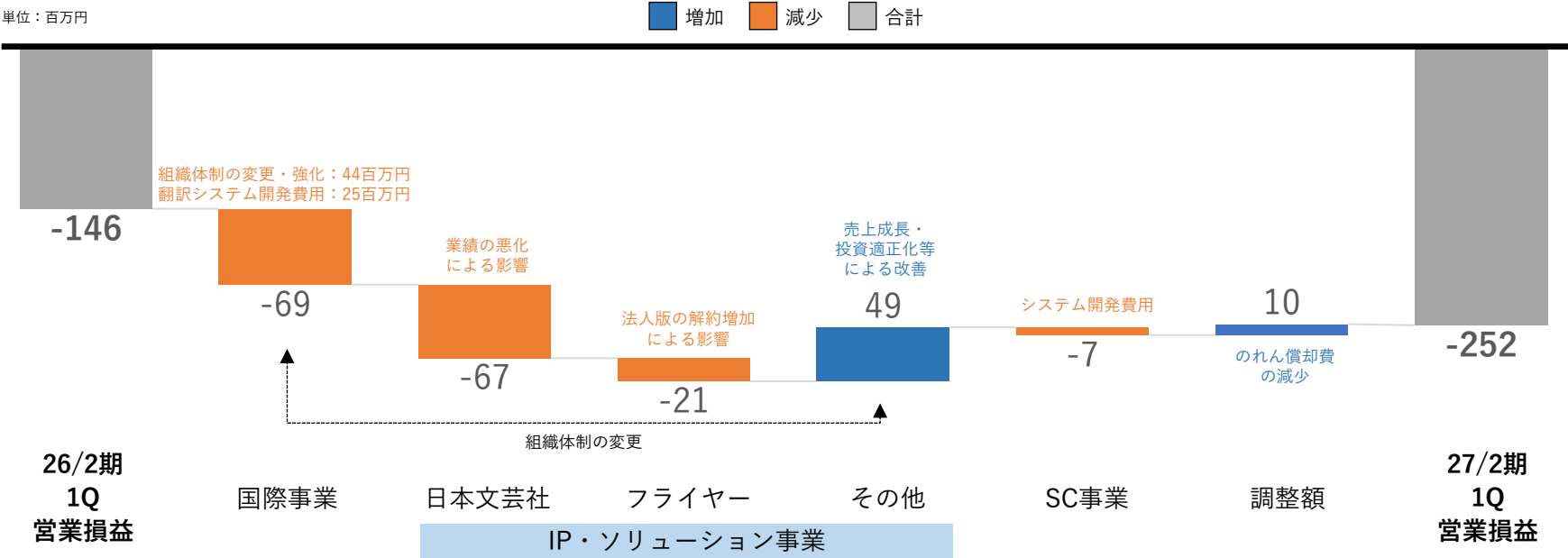
✓ 27/2期1Qより、フライヤー子会社Zealox社が連結開始



※ 26/2期より戦略投資事業に「がんばろう徳島（プロバスケットボールチーム「徳島ガンパロウズ」の運営会社）」を含めた。グラフにおいては25/2期実績も修正

# 営業利益 前年同期比較

- ✓ 国際事業では組織体制の変更・強化による費用増に加え、27/2期より翻訳システム開発費用を国際事業に計上
- ✓ 日本文芸社は実用書が改善基調にあるものの、26/2期3Qよりコミックの損益が悪化。並行して組織体制の改革にも注力
- ✓ フライヤーは法人版の解約増加により損益が悪化。26/2期に実施したM&A(25年9月AIStep社、26年2月Zealox社)は損益改善に寄与



## P/L実績

|                     | 26/2期  |       |        |       |        |       |        |       | 27/2期  |       |
|---------------------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
| 単位：百万円              | 1Q     |       | 2Q     |       | 3Q     |       | 4Q     |       | 1Q     |       |
| 売上高 ※1              | 26,011 |       | 27,852 |       | 26,644 |       | 28,028 |       | 27,074 |       |
| 電子書籍流通事業            | 24,203 | 93.0% | 26,043 | 93.5% | 24,770 | 93.0% | 26,089 | 93.1% | 25,141 | 92.9% |
| 戦略投資事業              | 2,167  | 8.3%  | 2,130  | 7.6%  | 2,157  | 8.1%  | 2,260  | 8.1%  | 2,263  | 8.4%  |
| 売上原価、販売管理費          | 25,357 | 97.5% | 27,106 | 97.3% | 26,135 | 98.1% | 27,483 | 98.1% | 26,634 | 98.4% |
| 著作料・その他原価 ※2        | 22,747 | 87.5% | 24,464 | 87.8% | 23,357 | 87.7% | 24,652 | 88.0% | 23,760 | 87.8% |
| 手数料等                | 18     | 0.1%  | 18     | 0.1%  | 17     | 0.1%  | 17     | 0.1%  | 18     | 0.1%  |
| 広告宣伝費               | 50     | 0.2%  | 46     | 0.2%  | 85     | 0.3%  | 40     | 0.1%  | 127    | 0.5%  |
| 人件費等                | 1,474  | 5.7%  | 1,436  | 5.2%  | 1,475  | 5.5%  | 1,510  | 5.4%  | 1,485  | 5.5%  |
| 償却費等(除：のれん)         | 182    | 0.7%  | 183    | 0.7%  | 188    | 0.7%  | 195    | 0.7%  | 187    | 0.7%  |
| のれん償却費              | 113    | 0.4%  | 112    | 0.4%  | 118    | 0.4%  | 119    | 0.4%  | 115    | 0.4%  |
| その他                 | 771    | 3.0%  | 844    | 3.0%  | 893    | 3.4%  | 948    | 3.4%  | 937    | 3.5%  |
| EBITDA              | 950    | 3.7%  | 1,042  | 3.7%  | 815    | 3.1%  | 860    | 3.1%  | 744    | 2.7%  |
| 営業利益                | 654    | 2.5%  | 745    | 2.7%  | 508    | 1.9%  | 545    | 1.9%  | 440    | 1.6%  |
| 経常利益                | 669    | 2.6%  | 769    | 2.8%  | 533    | 2.0%  | 575    | 2.1%  | 203    | 0.8%  |
| 税金等調整前当期純利益         | 1,181  | 4.5%  | 769    | 2.8%  | 533    | 2.0%  | 18     | 0.1%  | 151    | 0.6%  |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 818    | 3.1%  | 508    | 1.8%  | 306    | 1.1%  | 185    | 0.7%  | 129    | 0.5%  |

※1 電子書籍流通事業、戦略投資事業に属さない調整額は2026年2月期1Q -358百万円、2Q -321百万円、3Q -283百万円、4Q -321百万円、2027/2期1Q - 329百万円

※2 電子書籍流通事業にかかる金額は2026年2月期1Q 22,310百万円、2Q 24,045百万円、3Q 22,887百万円、4Q 24,188百万円、2027/2期1Q 23,290百万円

## B/S実績

| 単位：百万円                | 26/2期末        | 27/2期 1Q末     | 増減     | 主たる変動要因                   |
|-----------------------|---------------|---------------|--------|---------------------------|
| <b>流動資産</b>           | <b>44,001</b> | <b>44,472</b> | 471    | -                         |
| 現金及び預金                | 14,014        | 13,410        | -604   | -                         |
| 受取手形、売掛金及び契約資産        | 27,764        | 26,353        | -1,411 | -                         |
| <b>固定資産</b>           | <b>12,924</b> | <b>23,684</b> | 10,760 | -                         |
| 有形固定資産                | 469           | 456           | -13    | -                         |
| ソフトウェア                | 615           | 627           | 12     | -                         |
| のれん                   | 4,029         | 11,377        | 7,348  | 2026年3月のSeven Seas買収に伴う増加 |
| 投資有価証券                | 5,714         | 5,754         | 40     | -                         |
| 繰延税金資産                | 382           | 3,379         | 2,997  | 2026年3月のSeven Seas買収に伴う増加 |
| <b>資産合計</b>           | <b>56,926</b> | <b>68,157</b> | 11,231 | -                         |
| <b>流動負債</b>           | <b>35,686</b> | <b>47,677</b> | 11,991 | -                         |
| 支払手形及び買掛金             | 31,022        | 30,468        | -554   | -                         |
| 短期借入金および1年内返済予定の長期借入金 | 1,473         | 13,908        | 12,435 | 2026年3月のSeven Seas買収に伴う増加 |
| <b>固定負債合計</b>         | <b>2,017</b>  | <b>1,679</b>  | -338   | -                         |
| 長期借入金                 | 1,228         | 923           | -305   | -                         |
| <b>負債合計</b>           | <b>37,704</b> | <b>49,356</b> | 11,652 | -                         |
| 株主資本合計                | 17,849        | 17,370        | -479   | -                         |
| 資本金                   | 6,019         | 6,019         | 0      | -                         |
| 資本剰余金                 | 5,961         | 5,961         | 0      | -                         |
| 利益剰余金                 | 5,916         | 5,438         | -478   | -                         |
| 自己株式                  | -48           | -48           | 0      | -                         |
| その他包括利益累計額合計          | 1,185         | 1,257         | 72     | -                         |
| 新株予約権                 | 22            | 17            | -5     | -                         |
| 非支配株主持分               | 165           | 154           | -11    | -                         |
| <b>純資産の合計</b>         | <b>19,221</b> | <b>18,800</b> | -421   | -                         |
| <b>負債・純資産合計</b>       | <b>56,926</b> | <b>68,157</b> | 11,231 | -                         |

# 03

## 成長戦略

Growth Strategy

# 中長期成長戦略の軸は3つ

国内電子書籍  
流通事業

シェア拡大



出版業界のインフラ  
のとなるための投資

海外展開

ポジション  
確立



世界最大の翻訳出版社  
Seven Seasの買収・PMI

SC事業

ポジション  
構築



地域との信頼関係を基盤に  
収益事業として確立

# 各事業が目指す姿と成長フェーズ

## メディアドゥが捉える事業成長のフェーズ

|                                          | ①戦略立案                                                                                                                                 | ②挑戦 | ③ポジション<br>確立 | ④シェア<br>No.1 | ⑤業界貢献の<br>最大化 | 概況                                                                                |
|------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|--------------|--------------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 国内電子書籍<br>流通事業                           |                                                     |     |              |              |               | 2006年の参入から20年、すべての出版社との取引を行うポジションと国内No.1シェアを確立。今後、シェア拡大と貢献価値の向上により、業界へのさらなる貢献を目指す |
| 海外展開<br>MORE CONTENT<br>for MORE PEOPLE! | <p>2026年3月、海外マンガ市場における世界最大の翻訳出版社、Seven Seasを買収</p>  |     |              |              |               | Seven SeasのPMIを完遂するとともに、あらゆる出版社のコンテンツの翻訳出版を加速することで、日本の本を世界中に届けるNo.1の企業へ           |
| SC事業<br>Sustainability Creation          |                                                      |     |              |              |               | 起業家の挑戦とスポーツの熱量を、地域の活力へ。徳島を起点としたモデルを確立するため、他団体との連携を強化し、周囲を巻き込みながらポジション確立を目指す       |

- 2026年4月、xIB × B.LEAGUE連携協定を締結
- 2026年6月、xIB × 福岡証券取引所連携協定を締結



### 3.成長戦略

# 国内電子書籍流通事業

# 国内出版社からコンテンツが集まり続ける 圧倒的な信頼とポジションを確立

出版社  
2,200+



電子書店  
150+



出版社

**2,200社以上**

新規登録コンテンツ数  
年間約92万点

流通総額

**世界第2位**

1,930億円

電子書店

**150店以上**

ほぼすべての電子書店

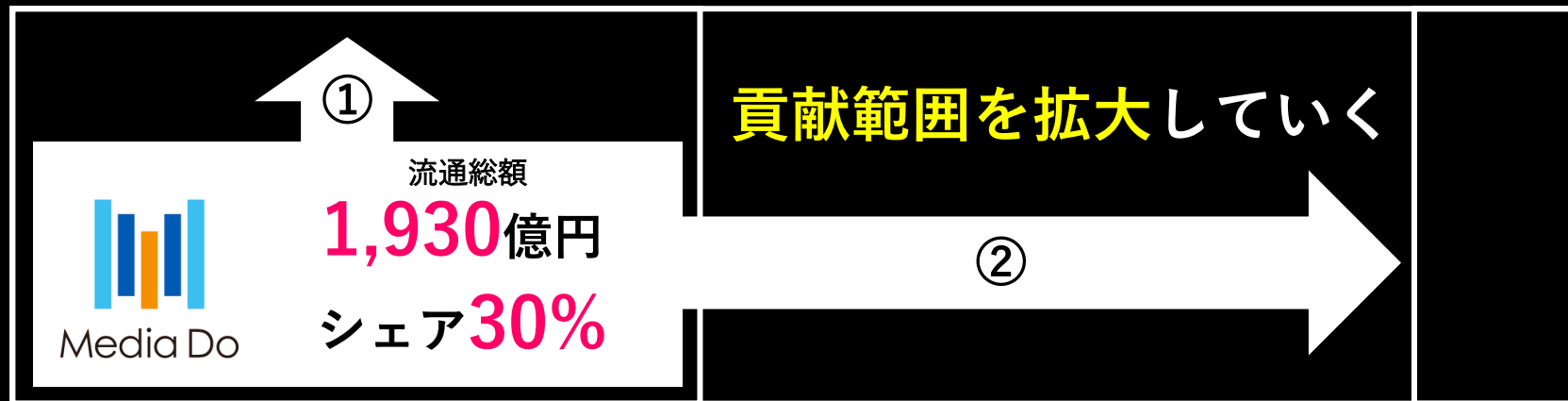
国内最大手である当社の市場シェアはまだ30%  
さらなるシェア拡大を目指す

電子書籍市場 **6,500**億円

取次経由 40%

直接取引 50%

その他 10%



### 3.成長戦略

# 海外展開

# 2026年3月1日 Seven Seasを\$80Mで買収

約126億円 (1ドル157.19円)

## メデアアドウ、米社買収へ

### 124億円日本の漫画販売拡大

【1】 徳島新聞

徳島市中徳島町2丁目  
電話 087-822-1770(代表)  
087-822-1771(編集)  
087-822-1772(営業)  
087-822-1773(編集)  
087-822-1774(編集)  
087-822-1775(編集)  
087-822-1776(編集)  
087-822-1777(編集)  
087-822-1778(編集)  
087-822-1779(編集)  
087-822-1780(編集)

2026年(令和8年)  
3月2日  
月曜日

## 日本経済新聞

2026年(令和8年)3月3日(火曜日) 12版 ビジネス1 14

### メデアアドウ、米出版買収 120億円で、漫画売り込み

電子出版取次大手のメデアアドウは2日、米国の出版社を買収すると発表した。買収額は8000万ドル(約124億円)になる見込み。同社が海外の出版社を買収するのは初めて。国内の出版市場は縮小する一方、米国の絵をデザインした雑誌の発売・販売も手掛けて収益力を高める。現地の映像会社から漫画をアニメ化したという打診があった際にも、セブンスが窓口になり交渉を担う体制を整える。

漫画の英訳には翻訳家の補助として自社で開発している人工知能(AI)を活用。現在は1冊6006カ月かかっていた翻訳期間を約2カ月に短縮する。

日本ではデジタル化の進展や人口減に伴い、紙による出版物の市場縮小が続く。ただ米国では堅調で、2024年は紙の商業出版物の売り上げが154億ドルと、23年から15%増えた。

25年12月時点では商業出版物全体の販売額の76%を紙の出版物が占め、本は電子よりも紙で読むのがなお主流となる。メデアアドウは、米国の出版市場に参入し、漫画の売り込みを強化する。米国の出版市場は縮小する一方、米国の絵をデザインした雑誌の発売・販売も手掛けて収益力を高める。現地の映像会社から漫画をアニメ化したという打診があった際にも、セブンスが窓口になり交渉を担う体制を整える。

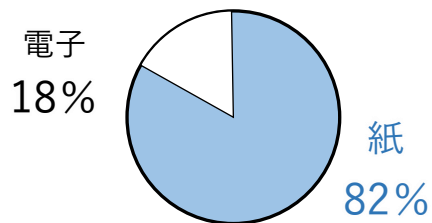
メデアアドウは、米国の出版市場に参入し、漫画の売り込みを強化する。米国の出版市場は縮小する一方、米国の絵をデザインした雑誌の発売・販売も手掛けて収益力を高める。現地の映像会社から漫画をアニメ化したという打診があった際にも、セブンスが窓口になり交渉を担う体制を整える。

※ 取得原価：12,575百万円 (取得時為替レート：約¥157.19/USD)  
※ 許諾：日本経済新聞、徳島新聞



# Seven Seasは、 日本コンテンツの年間発行タイトル数で 世界最大の翻訳出版社

## FY25 売上構成



売上高 : \$50M (79億円)

営業利益 : \$9M (14億円)

## 北米最大手出版社 の流通基盤



Penguin  
Random  
House

## 年間刊行タイトル数

世界最大  
**1,000冊**

※ 営業利益は調整後のもの（本株式取得後に実施予定の取締役報酬の見直し額を遡及調整）

¥159.93/USD

# 投下資本利益率の向上に資する取得ストラクチャーを採用

|       | A：株式買収           | B：資産買収                              | C：みなし資産買収                   |
|-------|------------------|-------------------------------------|-----------------------------|
| 手続き   | ○ 簡便             | ✗ 煩雑<br>個別契約の承継手続きが必要<br>で実現不可能な場合も | ○ 簡便                        |
| のれん償却 | ✗ 税務上<br>損金にならない | ○ 税務上損金計上可能<br>→\$19M（30億円）         | ○ 税務上損金計上可能<br>→\$19M（30億円） |

## 戦略的に買収スキームを構築

①米国子会社での買収  
(Media Do International)

日本からの直接買収では、税務メリットが毀損



②F型再編の実行

買収企業をLLCに再編し、  
税務メリット否認リスクを排除

# 買収の実質的なリスク額は買収金額の 6 割弱の\$47M

約75億円

1ドル159.93円  
で計算した場合



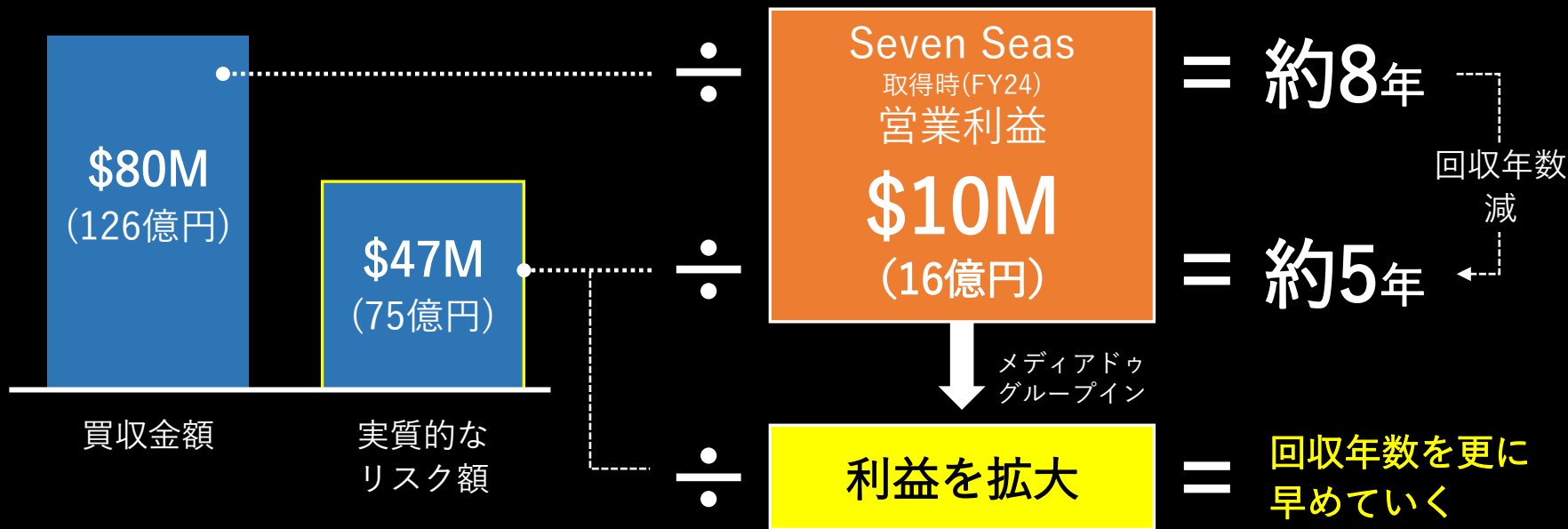
※ 買収金額は取得時レート：¥157.19/USD

純資産額、のれん償却にかかる税効果等、実質的なリスク額は27/2期1Q決算日レート：¥159.93/USD

取得原価の配分（PPA）等が未完了のため、現時点での暫定的な会計処理に基づき算出



# 買収時のリスク減だけでなく、 Seven Seasの利益を拡大することで回収年数を早める



※ 買収金額は取得時レート：¥157.19/USD

実質的なリスク額は27/2期1Q決算日レート：¥159.93/USD

取得原価の配分（PPA）等が未完了のため、現時点での暫定的な会計処理に基づき算出

# Seven Seas連結後もBSは安全水準

## 当面はエクイティファイナンスの予定なし

2026年2月末 連結BS

④総資産：56,926

|                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| ②有利子負債 2,741    |                 |
| 現預金<br>14,014   | ②有利子負債<br>2,741 |
| その他資産<br>38,882 | その他負債<br>34,963 |
| ①のれん4,029       | ③純資産<br>19,221  |

2026年5月末 連結BS

④総資産：68,157

|                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 現預金<br>13,410   | ②有利子負債<br>14,876 |
| その他資産<br>43,369 | その他負債<br>34,480  |
| ①のれん<br>11,377  | ③純資産<br>18,800   |

財務規律(目標値)

2026年5月末基準

D/Eレシオ (②÷③)

→1.0倍以下 → 0.8倍

のれん対純資産倍率 (①÷③)

→1.0倍以下 → 0.6倍

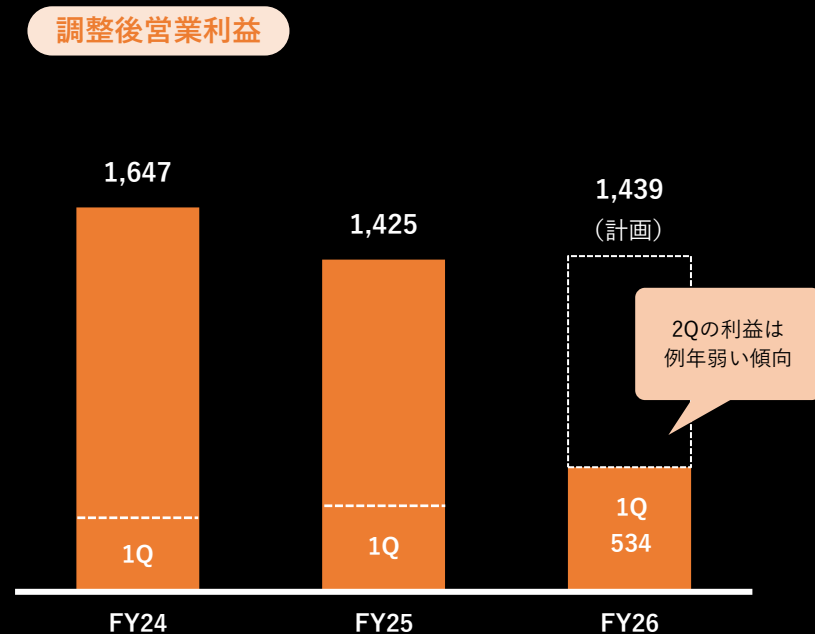
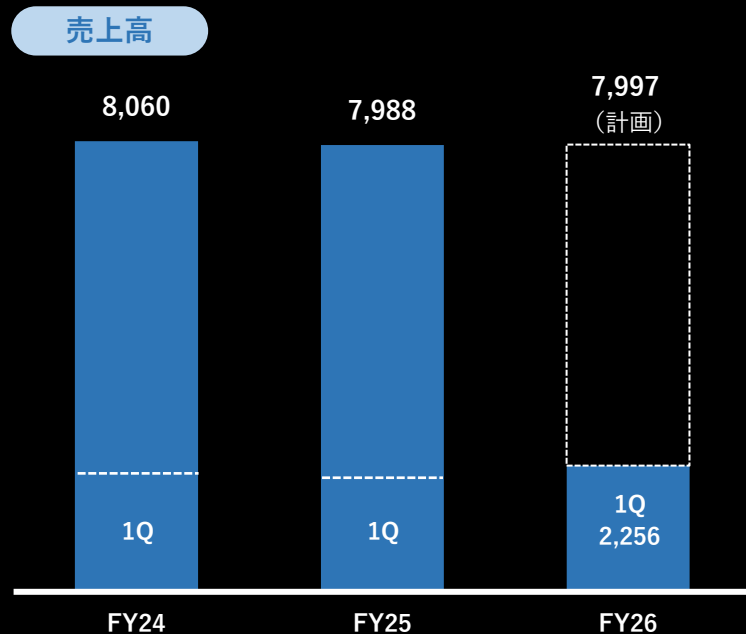
純資産比率 (③÷④)

→25%以上 → 27.6%

# FY26 1Qは売上利益とも計画を上振れ

## 2QからPL連結を開始予定

Seven Seas 単体売上利益の推移 単位：百万円 (¥159.93/USD)  
(従前の会計方針に基づく暫定的な数値)



# メディアドゥとSeven Seasの強みを掛け合わせ 売上・事業規模の最大化を目指す



メディアドゥとSeven Seasが築いてきた出版社との信頼関係や  
貢献力をもとに売上・事業規模の最大化を目指す

## メディアドゥとの連携で時間短縮

A. 許諾  
獲得数



B. 出版  
タイトル数



C. 販売単価



D. 販売部数



**売上・事業  
規模の最大化**

メディアドゥの国内出版社との信頼関係と、  
Seven Seasのコンテンツの目利き力をかけあわせ、  
許諾獲得数と出版タイトル数をスピーディーに拡大

\$139.99 (¥22,398)

## 高単価の作品も出版、売上を牽引

高価格本も発売から4か月で1万点以上の売上を記録  
The Scum Villain's Self-Saving System: Ren Zha Fanpai Ziju Xitong  
(Deluxe Hardcover Novel) Box Set  
(\$ 139.99)

海外書店は注文買切制度

- ・ 在庫リスクを書店が持つ
- ・ 自由な価格設定を行える

日本書店は委託販売制度

- ・ 在庫リスクなく返品可
- ・ 全国一律の定価販売

※ ¥160/USD

# メディアドゥのノウハウを生かして 出版タイトル数の増加を加速させていく



## 紙タイトル獲得の強化

- ① 電子書籍の販売動向に関する  
システムの日次連携
- ② コンテンツ獲得に関する  
営業人員の強化
- ③ 取扱いジャンルの拡大  
マンガ／文字もの



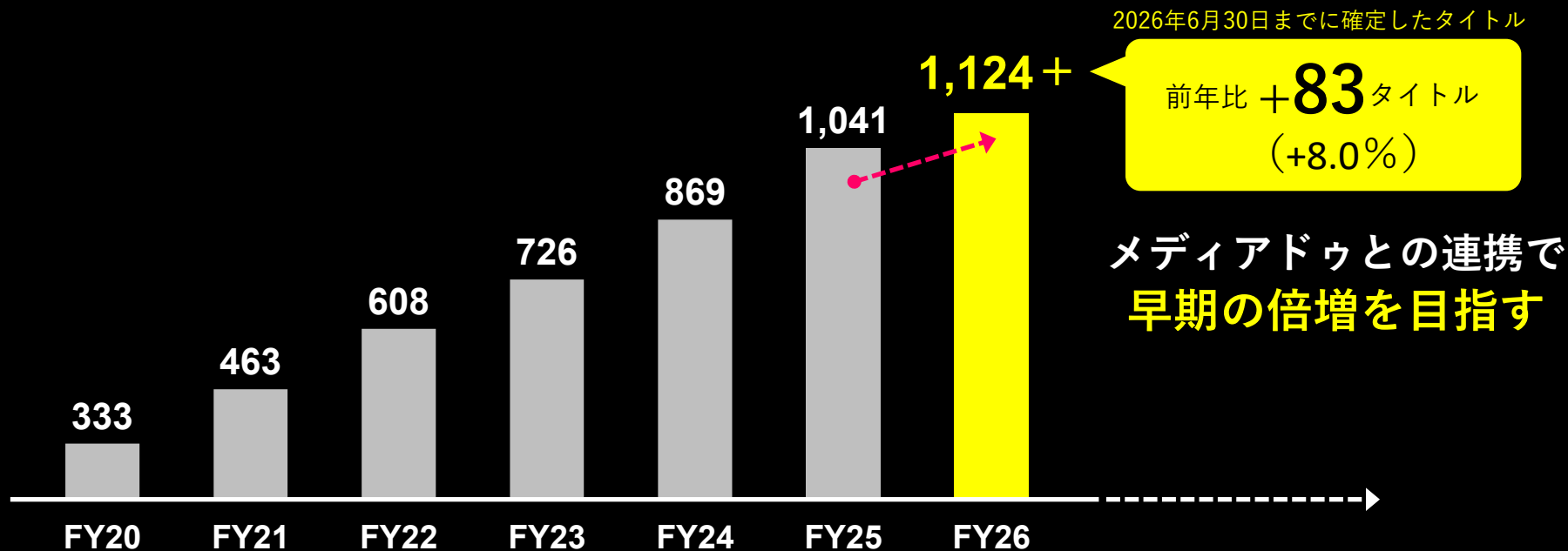
## 電子配信の強化

- ① キャンペーン
  - ・ 無料施策
  - ・ 割引施策
  - ・ 試し読み増量
- ② 読み放題展開
- ③ オーディオブック展開



# Seven Seasの取扱いコンテンツ数は年々増加

## FY26は1,124タイトル以上の刊行が確定



### 3.成長戦略

# SC事業

# 地域の主要機関との信頼関係を基盤に様々な事業を展開 地方創生と収益事業化を両立する

③より地域に根差した事業を展開し、  
地方創生と収益事業化を両立する

②地域の主要機関との信頼関係を基に  
様々なビジネス・取組みを生み出し、全国へ



①起業家支援を通じて多様なステークホルダーを  
巻き込み、地域の主要機関との信頼関係を築く





現在の**事業**は大きく分けて2つ

起業家支援



徳島の成功モデルを全国へ

**×IB JAPAN**

スポーツ事業



2026-2027シーズンより  
B.LEAGUE ONEに昇格



①行政 ②金融機関 ③メディア と  
その地域にゆかりのあるEOメンバー  
との連携により、地域の未来を担う  
経営者を支援する仕組み



徳島の成功モデルを全国へ

# ×IB JAPAN

2026年度 **28府県**

2030 Vision

- ✓ **全国46道府県**で立上げ
- ✓ 総会員数**5,000人**へ

スローガン

- ✓ 地方から日本を牽引する

全国IBにおける  
ポジショニング

- ✓ EO・官公庁・その他団体と  
地方経営者のハブとなる

社会における  
ポジショニング

- ✓ 地方経済の成長エンジンとしての  
ポジションを確立する

設立予定

- ①石川県
- ②山口県
- ③宮崎県
- ④秋田県
- ⑤愛知県
- ⑥大阪府
- ⑦福岡県
- ⑧島根県



# B.LEAGUE × xIB JAPAN × 証券取引所

## 全国IB説明会 & 交流会を開催

約**190名**  
が集結



2026年6月18日@メディアドゥ

全国25IB、B.LEAGUE、地方証券取引所などの関係者が参加

### TOPICS

- ① 福岡証券取引所との戦略的パートナーシップ協定を締結
- ② 4/14に連携協定を締結したB.LEAGUEの島田チェアマンが特別講演
- ③ Bクラブと各地域IBの代表者が初顔合わせを実施



B.LEAGUE チェアマン 島田慎二様  
連携協定に関する特別講演



福岡証券取引所 専務理事 井 秀典様  
xIB JAPAN 代表理事 藤田 (当社代表)  
戦略的パートナーシップ協定の締結

xIB JAPANは福岡証券取引所と連携協定を締結  
地域の起業家・経営者の身近に**資本の学びの機会を創出**  
**上場を意識することで地域から日本を強くする**

全国27府県※の  
起業家ネットワーク

**×IB JAPAN**

- ✓ 全国IB向けに資本政策や上場等に関するイベントを企画
- ✓ 上場希望企業を紹介

※ 設立準備中を含む



福岡証券取引所  
Fukuoka Stock Exchange

- ✓ 資本市場、上場等に関する情報提供・イベントの開催
- ✓ 上場希望企業へのサポート

他市場も  
調整中

# xIB JAPANにおける全国の地域の主要機関との信頼関係を基に 「SC IR」をSC事業の一環として開始



今後はxIB JAPANと連携し、  
地方開催と東京開催を組み合わせる  
ことでSC事業の一環として規模を拡大

SC IR Conference  
東京開催  
規模と認知を拡大



SC IR in地域  
地域の人々にアプローチ

詳細は次頁

## SC IR Tokushima

[第ゼロ回] 6月7日(日) 13-17時

メインセッション：メディアドゥ 代表取締役社長CEO 藤田恭嗣  
ゲストスピーカー：さわかみ投信 最高投資責任者CIO 黒島光昭様

参加者**163人**



投資において重要視する項目/アンケート回答の変化

|    | イベント前     | イベント後         |
|----|-----------|---------------|
| 増加 | 経営者の人間性   | 7.4% → 28.3%  |
|    | 中長期的な成長性  | 14.5% → 22.4% |
|    | 地域貢献      | 2.0% → 11.0%  |
| 減少 | 配当金・配当利回り | 19.2% → 12.6% |
|    | 業績安定性     | 13.8% → 5.4%  |
|    | 財務健全性     | 13.1% → 5.1%  |

**99%**  
が満足と回答  
投資の考え方が  
長期目線での  
応援に変化

# 「貯蓄から投資へ」「短期投資による利鞘獲得から長期投資による応援へ」 地域の投資家の考え方を変容していくIRイベント

[第1回] 9月6日(日) 10:00～18:00@東京ビッグサイト

東京

2027年5月下旬、熊本にて開催決定

地域

## SCiR Conference

## SCiR Kumamoto

【地方出身×上場創業経営者×地方創生の取り組み】に該当する創業者が登壇

オープニングスピーチ

東京証券取引所 上場部 二出川 総 様

登壇5社  
決定

**OIB** 株式会社さくらインターネット  
代表取締役社長 田中邦裕 様

**KGIB** 株式会社ビジョン  
代表取締役会長兼CEO 佐野健一 様

**KGIB** 株式会社チェンジホールディングス  
代表取締役兼執行役員社長 福留大士 様

**KoIB** 株式会社ミガロホールディングス  
代表取締役社長 中西聖 様

**TiB** 株式会社メディアドゥ  
代表取締役社長 CEO 藤田恭嗣

1,000人  
規模で開催  
参加無料



**KuIB** スターティアホールディングス株式会社  
代表取締役会長 本郷秀之 様

登壇5社  
決定

**OIB** 株式会社さくらインターネット  
代表取締役社長 田中邦裕 様

**KGIB** 株式会社ビジョン  
代表取締役会長兼CEO 佐野健一 様

**KGIB** 株式会社チェンジホールディングス  
代表取締役兼執行役員社長 福留大士 様

**TiB** 株式会社メディアドゥ  
代表取締役社長 CEO 藤田恭嗣

500人  
規模で開催  
参加無料



2026年4月1日  
メディアドゥは  
30周年を迎えました



# 5月19日「設立30周年 感謝の会」開催



ゲスト570名、記者4名、社内関係者86名

## 総勢660名

ダイジェスト動画はこちらからご覧いただけます



## 将来見通しに関する注意事項と会計監査について

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでいます。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

また、本資料内には会計監査人の監査を経ていない財務情報も含まれており、その内容の正確性を完全に保証するものではありません。従いまして、本資料に全面的に依拠した投資等の判断を行なうことは控えていただくようお願いいたします。

<https://mediado.jp/ir>

